

子どもたちの 夢と希望があふれるまちを 総力を挙げてつくっていく



池新田地区内に計画されていた産業廃棄物処理施設建設事業につきましては、住民投票の結果を受け、昨年1月、同年7月、そして本年2月と3回にわたって大栄環境株式会社の子会社と面談し、粘り強く事業の断念、撤退を要請してまいりました。その結果、3月15日に同社から「地元自治会との合意に至らなかったこと、今後も合意を得る展望が開けないことなどが主な要因」として、正式に「撤退する」旨の回答をいただきました。

3月22日に開かれた市議会本会議の最終日には、池新田財産区が大栄環境株式会社から受け取った3カ年分の賃貸料3338万4千円を返還する補正予算案が可決され、その後、大栄環境株式会社と池新田財産区管理会、管理者である私との間で書面を取り交わし、3月26日に正式に契約解約の合意に至りました。

市民の皆さまには、長い間ご心配やご不安をお掛けし、大変申し訳ございませんでした。また、事業の撤退に当たり、大栄環境株式会社には「名

誉ある撤退」をご決断いただき、敬意を表すとともに深く感謝申し上げます。

令和3年度は、「第2次御前崎市総合計画」の中間目標の達成状況を評価し、令和7年度の最終目標に向けて舵を取る大事な年となります。

新型コロナウイルス感染症の影響による市税の大幅な減収が見込まれる中での厳しい財政状況下ではありますが、①自然災害に強い「安心」あるまちづくり

②「デジタル化」に向けた環境整備の推進

③つながりを大切にした「しなやかな人」づくり

④「希望」を持ち、健康で安心して暮らせるまちづくり

⑤地域資源の活用による「魅力」の発信、「にぎわい」の創出

を重点施策として推進し、総合計画の実現に向け、着実に前進してまいりたいと考えています。

自然災害に強い「安心」あるまちづくり

災害に強く、安全・安心に暮らせるまちを目指し、市道

整備や河川改良を行います。

市道は、社会資本整備総合交付金を活用し、幹線道路や避難路に指定されている重要な道路を計画的に整備します。河川や排水路の改良についても多発する短時間での豪雨や台風などによる被害を最小限に抑えられるよう努めてまいります。

南海トラフ地震などの大規模地震への対策として、老朽化した橋梁の継続的なメンテナンスとともに、津波避難救命艇を配備して津波避難空白地域を解消します。また、防災士等育成補助金を創設し、自主防災組織などを担う人材育成にも注力します。

このほかにも、無線不感地帯の解消のために無線中継局の設置、災害時の電力確保と災害拠点施設の機能強化のために消防庁舎に太陽光発電設備を設置いたします。

「デジタル化」に向けた環境整備の推進

新たにデジタル推進室を設置し、情報政策アドバイザーから支援を得ながら、行政のデジタル化に向けた環境整備